

生成 AI ブートキャンプ 仕様書

I 事業の目的

本事業は、生成 AI（Generative AI）に関する基礎的理解を前提としつつ、地方自治体職員が自らの担当業務において生成 AI を適切かつ効果的に活用し、業務改善や生産性向上につなげることを目的とする。

受講者が自らの担当業務における課題を特定し、生成 AI を活用した改善策の検討・実践を通じて、業務改善を実現し、実務への定着を図ることを重視する。

2 業務内容

2-1 業務の範囲

本業務は、県と県内市町の一般職員を対象とした Microsoft 社の提供する Copilot Chat、Copilot Studio を活用した生成 AI を活用した業務改善に関する伴走型研修の企画、設計、実施および成果物の作成を行うものである。

参加者の想定は最大で 30 名（県 15 名、市町 15 名程度）とし、

研修期間中は県から参加する職員については、Microsoft365、Copilot Chat、Copilot Studio の利用環境を県において設定する。

県内市町から参加する職員に対しては、Microsoft365 を導入していない自治体や契約しているライセンス等の環境がそれぞれに異なるため、日程ごとに以下の対応とする。

- ・オンライン実施の場合は、後続の演習に繋がるよう、業務改善の進め方や生成 AI の基礎的事項を学ぶ内容を中心とした研修とすること。

- ・現地実施の場合は、県が研修用に Microsoft365、Copilot Chat、Copilot Studio ライセンスおよび端末を提供する。

なお、Microsoft 365 Copilot ライセンスがなければ使用できない機能については、演習テーマとしないこと。

2-2 委託者が指定する研修のアウトライン（必須要素）

以下の項目は必須とする。

1. 自身の担当業務の課題や非効率な業務を整理し、改善テーマを設定する
2. AIを導入する前提としての業務フローの整理など見直しを行う方法
3. 生成AIの基礎理解（仕組み、特性、活用上の留意点等）
4. RAG（Retrieval Augmented Generation）の基礎（言葉の意味や仕組み）
5. Copilot Studio を用いた RAG またはエージェントの設計・活用方法
6. 業務課題の解決に向けた生成AI活用の検討・試作
7. 今後の技術動向および情報を継続的にフォローするための方法

2-3 受託者の提案に委ねる事項

以下の事項については、委託者は詳細を指定せず、受託者の創意工夫による企画提案に基づき決定する。

- 研修全体の構成、進行方法および時間配分
- 研修中における、受講者の理解度に基づいた伴走型研修の進行方法
- 課題設定の単位（個人・グループ等）、課題解決演習の進め方
- 研修後のフォローアップ支援（※実施は任意とし、提案内容次第で加点の対象とする）

2-4 実施期間

実施期間は 11 月 2 日（月）～11 月 30 日（月）とし、土日・祝日を除いた任意の日に実施すること。

受講者の業務への負担を考慮し、各研修実施日間で 3 営業日以上の間を設けること。

研修の時間は半日での開催の場合は 3 時間、全日での開催の場合は 6 時間とし、延べ 3 日程度の日程で実施することを想定する。うち最低限 1 日は福井県内において実地で開催することとする。

※実地で開催する研修の会場は原則として福井県庁舎内とし、県が用意する

3 受託者に求める提案内容

別紙 提案書作成要領を確認し、記載に沿った内容で作成すること。

4 成果物

本業務において、以下の成果物を電子データで提出すること。

- 研修用資料一式
- 演習用資料、ワークシート等
- 研修実施報告書（実施内容、参加状況、所感、課題等を含む）

5 実施体制・要員要件

1. 業務全体を統括する責任者を配置すること。
2. 生成 AI、情報セキュリティに関する知見を有する講師またはファシリテーターを配置すること。
3. 演習に十分対応できる要員体制を確保すること。
4. 自治体職員向け研修または行政コンサルティングの実績を有することが望ましい。

6 留意事項

1. 個人情報および業務上知り得た非公開情報は、厳重に管理し、本業務以外の目的に利用してはならない。
2. 生成 AI の利用に関しては、誤情報、著作権侵害、判断を AI 任せにすること等のリスクを十分踏まえ、行政実務に即した慎重な取り扱いを前提とすること。
3. 研修内容および成果物については、委託者の求めに応じて必要な修正・調整を行うこと。
4. 採択後の契約に際しては、受託者からの企画提案を踏まえて別途仕様書を作成する。